受付番号	228	グループ名称	一般社団法人香川県総合建設センター

様式3

事務局体制の確認

選択	事務局体制の確認
□	グループ内に専任の担当者はいない
■	グループ内に専任の担当者を配置している
選択	**事務局の業務委託の確認**
■	グリーン化事業に係る業務は事務局内で行っている
□	外部の業者に部分的に業務委託をしている
□	外部の業者に全ての業務を委託している
業者名	
■	事務局の同一担当者が複数のグループを担当している
選択	**グループのサポート体制**
□	基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応
■	設計申請等のサポートが出来る体制になっている
■	施工に関するサポートが出来る体制になっている
■	維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
□	地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
□	その他、グループ特有のサポート体制がある
内容	
選択	グループ内の情報共有の方法
■	グループ内で事業説明会を実施する
□	SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有
■	メール・メーリングリストを使った情報発信
■	ホームページ等Webを使った情報共有・発信（会員専用ページなど）
■	TEL・FAXを使った情報共有・発信
□	その他
内容	
選択	所属工務店の廃業等があった際の対応
□	指定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管
■	グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
□	グループ事務局にて維持管理を代行
□	グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
□	第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
□	グループ事務局として対応しない
□	その他
内容	

地域型住宅の仕様、品質に関する取組みについて

選択	主要構造部における地域材の推奨割合
□	５０％未満
□	５０％以上
■	８０％以上
選択	**グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組**
■	設計性能評価書を取得している
□	建設性能評価書を取得している
■	耐震等級３を取得している
■	ゼロ・エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している
■	ZEHに取り組んでいる
■	BELSに取り組んでいる
■	低炭素住宅の認定を取得している
□	その他
内容	

受付番号	228	グループ名称	一般社団法人香川県総合建設センター

様式3

選択	地域型住宅の生産体制に関する取組み
■	地域型住宅で使用する用材の寸法規格化
■	地域型住宅の施工に関する統一基準がある。（一部箇所も含む）
□	地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある
□	地域型住宅の積算・見積もりに関する統一したルールがある
□	使用する地域材の在庫把握の仕組み
□	指定（推奨）の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有
□	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行
□	完成保証・地盤補償等の各種保険の添付（瑕疵担保責任保険は除く）
□	その他
内容	

地域型住宅の維持管理に関する取組みについて

選択	住宅履歴情報の管理・活用について
□	住宅履歴情報は施主が保管管理を行う
□	住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う（施工工務店任せ）
□	住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
□	グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
■	その他
内容	はクラウド上の「いえかるて」への保管を推奨し、施主と施工工務店の双方で管理するよう

選択	維持管理の実施に関する取組みについて
□	グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
■	各社個別の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
□	グループとして外部の機関と提携（契約）して維持管理を実施
□	維持管理の実施に関しては施工工務店任せ
□	その他
内容	

選択	グループ事務局での維持管理の対応について
□	グループ事務局が施工事業者に連絡して維持管理・点検を行う
□	維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
■	維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない

グループで実施する研修、サポート体制に関する取組みについて

選択	グループで実施、または構成員が参加する研修会・講習会について
■	補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会
■	地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会
■	地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会
□	地域型住宅の維持管理に関連した研修会
■	住宅性の評価・表示協会が開催する講習会への参加
■	住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加
■	改正省エネルギーに関連した研修会
■	顧客提案等の営業手法等に関する研修会
■	工務店経営に関連した研修会（人材育成・働き方改革・民法改正等）
■	ＣＣＵＳ（建設キャリアアップシステム）に関連した研修会
■	事業者向け現場見学会
□	その他
内容	

選択	グループ（事務局）の未経験工務店の割合
□	未経験工務店は所属していない
□	未経験工務店の所属が１／３未満
■	未経験工務店が１／３以上
□	未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない

受付番号	228	グループ名称	一般社団法人香川県総合建設センター

様式3

選択	グループの未経験工務店に対するサポート体制
■	未経験工務店への優先サポートの実施
■	地域型住宅の補助活用マニュアル（手順書）の用意
■	各種認定取得サービスの活用提案
■	施工管理・施工検査のサポート
□	営業支援（提案書作成・営業同行）
■	事務局による交付申請書類作成支援
■	事務局による実績報告書類作成支援
□	特にサポートは行っていない
□	その他
内容	

地域型住宅の地域社会との連携や継承についての確認

選択	地域型住宅として地域社会との連携・継承等について
■	地域の伝統的なデザインの継承を意識している
■	地域の街並みの継承を意識して対応する
■	地域の住まい方の継承を意識して対応する
■	地域型住宅に和の住まいの要素を取り入れた対応を行う

災害時等への対応についての確認

選択	災害発生時・発生後の対応について
□	特に取り決めしていることは無い
■	取組みを行っている
	おける被災住宅の応急修理に関する協定」「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定

※　災害発生時の国土交通省よりの情報提供の受け取りについて

■　情報提供を受る

受付番号	228	グループ名称	一般社団法人香川県総合建設センター

グループの取組み等PRポイントについて

当グループは、建設業界及び地域社会の発展のために総合的なサポートを実施している社団法人で、マイホーム相談室（国土交通省補助事業）・耐震診断リフォーム相談窓口など、住宅の新築、増改築及び耐震改修に関する相談業務を行い、消費者が住宅の新築やリフォームに取り組める環境整備を図るとともに、中小工務店などの健全な発展に寄与するなど、中立、公正な業務に努めている。構成員共有してのサポート支援として、省エネ、性能評価、BELS、増改築などの講習会を通じ、技術向上活動や事務局による申請フォローサポートを積極的に行っている。消費者向けに、長期優良住宅のパンフレット配布やすまいのよろず相談などを通じ、すまいに関する情報発信、相談

地域型住宅の性能・アピールポイントについて

本県は、瀬戸内国立公園の中心に位置し風光明媚な土地柄で、四季を通して"温暖少雨"が特徴で歴史的に見て災害の少ない地域であるが、近年の豪雨災害や南海トラフ災害が懸念されている。又、持ち家比率は69.3%と高く、老齢化（老年人口割合31.5%）が進み、単身・夫婦2人世帯（高齢層）は25%と増加傾向である。生産年齢・年少人口は減少傾向にある。上記内容を背景に、
①南海トラフ地震等を鑑み、耐震等級3とする。但しゼロエネについては耐震等級3を推奨する。
②断熱性能等級5、一次エネルギー消費量等級6の性能とする。（但し既契約物件及び伝統的な住宅等については基準を緩和する。）
③高齢者等級3以上とする。ユニバーサルデザイン等を検討する。

地域型住宅における地域材の活用について

グループとして国産材の使用を推奨している。
地域産の木材を使用する事で、良質な杉・桧の産地である四国地区の山林が再生され、地域経済に寄与する。
又、運搬時のCO2排出量の軽減となる。

引き渡し後の維持管理について

家の設計図書をきちんと保管することが大切になります。点検やメンテナンス、修繕、交換などをおこなうときには、建物の基本的な情報が必要になってきます。設計図書には、そのような情報が詳細に書かれていますので、すぐに取り出せる場所に保管しておくことをおすすめします。住宅履歴情報を蓄積することの意義や、「いえもり・かるて」の概要、手続きの流れ等について、 住宅所有者に説明をします。誰が、いつ、どのような工法で建設したかなど、家に関する情報を保管して、お施主様や工務店がいつでも活用できるようにした、住宅履歴情報管理システムを推奨している。

消費者相談窓口の有・無と対消費者に対する対応内容

- 消費者相談窓口がある

国土交通省の補助事業「消費者の相談体制整備事業（かがわマイホーム相談室）」を行っている。
より消費者に身近な相談がワンストップで出来るよう、各種団体と連携したものになっている。
又、空き家問題、近隣のクレーム案件など、行政との連携も行っている。

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（ゼロ・エネルギー住宅型）

様式5　モデルプラン

グループ名称	一般社団法人香川県総合建設センター
R3採択グループ番号	10　-　0478　-　0561

F：交付申請におけるBELSの申請書作成及び申請は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
■	グループ事務局が実施	■	申請事業者（施工事業者）にて実施	■	外注（外部事業者に依頼）
□	その他				

（1）－6　：モデルプランによるゼロエネ住宅性能の試算で、モデルプラン計算は、どのような方法で行いましたか？

選択項目				
■	グループ事務局が実施	□	外注（外部事業者に依頼）	
□	その他			

（1）－7：モデルプラン計算結果（必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください）

No	想定する地域区分（1～8）	外皮平均熱貫流率（UA値）	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					
			全体 R(%)	太陽光発電を除く R0(%)	太陽光発電	太陽光発電　容量（kW）	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	既定の評価に含まれないもの（記述）
1	6	0.6	105	20	■	4.5				
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

NearlyZEHのモデルプラン計算結果

設問（3）.でNearlyZEHモデルプランを選択した場合は、必ず1つ以上入力してください

No	想定する地域区分（1～8）	外皮平均熱貫流率（UA値）	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					
			全体 R(%)	太陽光発電を除く R0(%)	太陽光発電	太陽光発電　容量（kW）	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	既定の評価に含まれないもの（記述）
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

（2）評価委員会による評価　　（評価委員会による評価を選択の場合、ゼロエネ審査室より連絡があります）

（2）－1：導入する省エネ手法をお答えください

選択項目				
□	空気集熱式太陽熱利用システム	□	地熱利用	
□	その他			

（2）－2：現在の運用をお答えください

選択項目				
□	実際の物件に導入している	□	実際の物件に導入していない	